

北米 山火事、サイクロン、地震が西海岸に影響

FreshPlaza 2023年8月21日

ブリティッシュコロンビア州(カナダ)の山火事により、何万人もの人々が避難した一方で、今週末、カリフォルニア州南部は数十年ぶりの熱帯低気圧に襲われた。同じ日に、同州ベンチュラ郡の地震では広範囲で揺れがあった。

ブリティッシュコロンビア州の山火事

ブリティッシュコロンビア州ケロウナで山火事が続いており、同地域では大規模な避難、資産や建物の破壊、多くのサービスの停止などが引き起こされている中、州の青果物業界に関する最初の更新情報が届いている。この地域は果樹産業で有名で、リンゴ、核果類、その他多くの果実を生産している。同州の果実生産者協会(BCFGA)によると、同州内陸部の果樹産業では800人の生産者が果樹園を営んでおり、生産者、梱包業者、加工業者は1,500人を直接雇用している。

ある生産・出荷業者は、その事務所で働く多くの従業員が山火事のために避難したと述べた。BCFGAのグレン・ルーカス事務局長は最新情報として、「(影響を受けたのは)主に森林部と、市の周縁部にある松林の中に住宅がある「境界」区域であった。ラハイナ地域(ハワイ州)の事例は例外があることを示しているが、通常、果樹園は灌漑のおかげで安全であり、果樹園に達すると火は止まる」と述べた。

ルーカス氏は今朝早く、「天候が涼しくなったので、消防隊員は非常に激しい火災の炎から一時解放される。さらに火曜日から水曜日に予想される雨が役立つ」と付け加えた。果樹園はおおむね火事の影響を受けていない。同氏はさらに、「煙のために屋外の作業が1日か2日中断する可能性があるが、これは週末と重なったため、混乱は最小限に抑えられた」と述べた。

生産者らは、今後数日で物事が平常に戻ることを期待している。同氏は、「8月下旬から9月上旬のリンゴとナシの収穫開始に十分間に合う。現在は非常に煙が濃い、(極端な場合)果実の日焼けを起こす可能性のある強烈な日差しを遮っている。煙は醸造用ブドウに影響を与える可能性があるが、通常の果樹には影響しない」と言う。

ハリケーンヒラリー

南の方では、ハリケーンヒラリーが日曜日にメキシコに上陸し、熱帯低気圧となって米国南西部を通過した。それはカリフォルニア州南部で猛烈な風と記録的な量の降雨を引き起こし、住民は落下した送電線や水没した道路に対処しなければならない。山岳地帯と砂漠地帯では、砂漠地帯で通常年間を通じて降るのと同程度の5~10インチの降雨があった可能性がある。熱帯暴風雨がカリフォルニア州南部を襲ったのは、1939年以来ヒラリーが初めてである。

国立気象台によると、ロサンゼルス地域では1日の降雨量に関する記録がいくつも破られた。ロサンゼルス、サンバーナーディーノ、デスバレー、ベンチュラ、サンタクラリタ等の地域で、鉄砲水に関して20を超える警報が発令された。ヒラリーは、カリフォルニア州からさらに北に移動し、そこでも大きな被害を引き起こす可能性がある。農産物の生産に関して2つの重要な州であるオレゴン州とアイダホ州の一部でも、最大5インチの降雨が予想される。

カリフォルニア州が日曜日の午後にヒラリーの到来に備えていたちょうどその時、ロサンゼルス北西約80マイルにあるベンチュラ郡オーハイ市ではマグニチュード5.1の地震に襲われた。これまでのところ、被害や死傷者の報告はない。オーハイバレーは農業が盛んで、タンジェリンの一種であるオーハイピクシーで知られている。

執筆者: マリーケ・ヘムズ